

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-096214

(43)Date of publication of application : 09.04.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 09-254527

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 19.09.1997

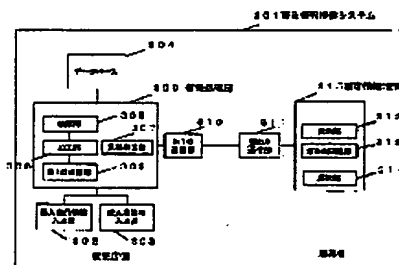
(72)Inventor : SHIRAIISHI TAKAKO
YAMAMOTO TERUO
ISHIZAKI YOSHIHIRO
KOBAYASHI TORUJc600 U.S. Pro
09/800568
03/08/01

(54) COMMODITY INFORMATION PROVIDING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a customer to obtain information related to commodities to be purchased by retrieving the information related to the commodities to be purchased from a data base based on purchase commodity information such as the purchase date, the number of units and prices of purchases or service, combining the retrieved information with information for specifying a purchaser and transmitting the combined information to a customer's information terminal.

SOLUTION: When a customer purchases commodities in a store, a purchase commodity information input part 302 inputs purchase commodity information (commodities, prices, a purchase date, etc.), read out from a bar code reader, inputs purchaser information from a customer card and transmits both the information allowed to correspond to each other to an information processing part 309. In the processing part 309, a retrieving part 305 retrieves information related to the purchased commodities and a menu or the like to be prepared by using food purchased on the day from a data base and a nutrition judging part 307 judges nutritive balance. A working part 306 works the retrieved data, nutrition judging result information and purchase commodity list so as to present them to the customer in an easily understandable state and transmits the worked contents to a customer's information terminal 315 through communication parts 310, 311.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-96214

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月9日

(51) Int.Cl.⁸

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

Z

審査請求 未請求 請求項の数19 O L (全 22 頁)

(21) 出願番号 特願平9-254527

(22) 出願日 平成9年(1997) 9月19日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 白石 孝子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 山本 照夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 石崎 祥浩

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

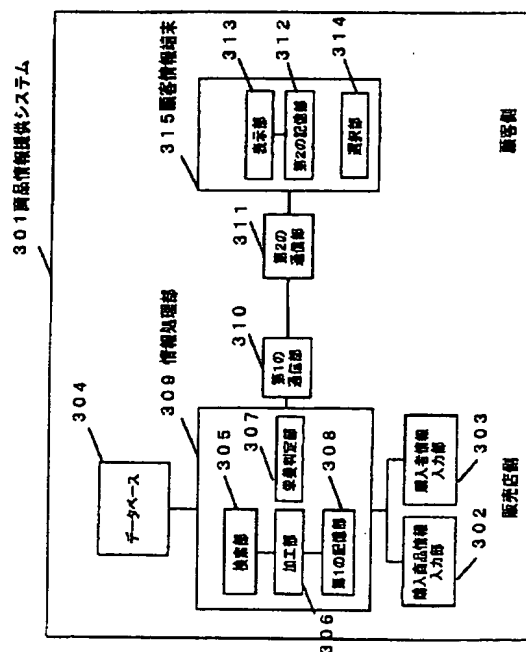
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 商品情報提供システム

(57) 【要約】

【課題】 本発明はユーザーが購入した商品に関連した様々な顧客のニーズに対応した便利な情報を、適宜顧客の家庭で入手できるようにすることを課題とするものである。

【解決手段】 販売店側で購入商品情報入力部302と、購入者情報入力部303より、誰が何を買ったかの情報を入力すると、検索部は309はデータベース304から該当商品関連情報を検索加工し、通信部を介して購入した顧客情報端末305に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品やサービスの購入時の情報である日時、商品、数量、価格等を入力する購入商品情報入力部と、購入者を特定する購入者情報入力部と、商品に関連した内容のデータベースと、前記購入商品情報入力部からの購入品情報に基づき前記データベースから購入された商品に関連する情報を検索する検索部、前記購入商品情報入力部及び前記購入者情報入力部及び前記検索部からの情報を組み合わせ加工する加工部、前記加工部からの情報を記憶する第 1 の記憶部とから構成される情報処理部と、前記情報処理部からの情報を送信する第 1 の通信部と、前記第 1 の通信部と有線または無線の通信回線によって接続され前記第 1 の通信部からの情報を受信する第 2 の通信部、前記第 2 の通信部からの情報を記憶する第 2 の記憶部、前記第 2 の記憶部に記憶された情報を表示する表示部とから構成される顧客情報端末と、を備えた商品情報提供システム。

【請求項 2】 顧客情報端末は顧客が欲しい商品情報を選択するための選択部を備え、第 2 の通信部は前記選択部からの情報を第 1 の通信部に送信し、第 1 の通信部は第 2 の通信部からの情報を情報処理部に送信し、検索部は顧客の要求する商品情報を検索する請求項 1 に記載した商品情報提供システム。

【請求項 3】 データベースは料理献立や料理レシピを格納し、検索部は購入商品情報入力部からの顧客が購入した食品や調味料等の調理材料情報に基づき購入品を使ってできる料理レシピを検索することを特徴とした請求項 1 または 2 に記載した商品情報提供システム。

【請求項 4】 情報処理部は顧客の食品類の買い物情報に基づき、栄養バランスを診断する栄養判定部を備えた請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

【請求項 5】 顧客情報端末は顧客のプロフィールとしての氏名、住所、家族構成、年齢、趣味、ライフスタイル、食事の好み等を入力する顧客情報入力部を備え、第 2 の通信部は前記顧客情報入力部からの情報を第 1 の通信部に送信し、情報処理部は第 1 の通信手段からの情報を受信し、顧客の特性や趣味し好に対応した商品情報を検索し加工する検索部及び加工部から構成される請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

【請求項 6】 顧客情報入力部は顧客の住宅及び住宅設備に関する情報を入力する住宅情報入力部を備え、情報処理部は顧客の住宅や使用している住宅設備に対応した商品情報を検索加工する検索部及び加工部から構成される請求項 5 に記載した商品情報提供システム。

【請求項 7】 顧客情報入力部は顧客の家族の少なくとも一人分の身体的特徴、健康状態、生理データである身長、体重、身体寸法、血圧、心拍数、血糖値、尿たんぱく値、尿糖値、尿潜血、便潜血のうち少なくとも一つの

データを入力可能な健康情報入力部を備え、情報処理部は顧客の健康状態に対応した商品情報を検索加工する検索部及び加工部から構成される請求項 5 ないし 6 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

05 【請求項 8】 健康情報入力部は生理データ測定部を備え測定データのを入力を自動的に行う請求項 7 に記載の商品情報提供システム。

【請求項 9】 顧客情報入力部は第 3 の通信部を有し、顧客情報端末または情報処理部へのデータの送信が可能な携帯型であることを特徴とする請求項 5 ないし 8 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

10 【請求項 10】 顧客情報入力部は販売側に備え、前記顧客情報入力部からの情報は情報処理部に送信する請求項 5 ないし 9 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

15 【請求項 11】 顧客情報端末は顧客情報入力部からの情報を記憶する顧客別情報記憶部を備え、情報処理部は顧客情報端末からの過去の顧客情報の記憶を元に顧客に必要な情報を検索加工する検索部および加工部とから構成される請求項 5 ないし 10 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

【請求項 12】 情報処理部は購入商品情報入力部からの情報及び顧客別の検索履歴または顧客情報入力部から入力された情報を顧客別に記憶する顧客別情報記憶部を備えた請求項 1 ないし 11 のいずれか一項に記載した商品情報提供システム。

25 【請求項 13】 情報処理部は顧客別情報記憶部の情報または過去の選択部からの情報リクエスト履歴に基づき顧客別に好まれる情報の傾向を判断し好みに応じた情報を検索加工する検索部及び加工部を備えた請求項 11 または請求項 12 に記載した商品情報提供システム。

【請求項 14】 情報処理部は顧客別情報記憶部に記憶された所有家電機器または耐久消費財の購入及び所有状況に応じて顧客別に対応した商品関連情報を検索加工し提供する検索部及び加工部を備えた請求項 11 ないし請求項 13 のいずれか一項に記載の商品情報提供システム。

【請求項 15】 栄養判定部は顧客別情報記憶部に記憶された顧客別の商品購入の履歴と過去の情報リクエスト状況に基づき、所定期間における栄養の偏り過不足等の栄養バランスを判定することを特徴とする請求項 11 ないし 14 のいずれか一項に記載の商品情報提供システム。

【請求項 16】 データベースは食品摂取における栄養バランス状況に対応する食生活についてのアドバイス情報を格納し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果に基づき望まし食生活についてのアドバイス情報をデータベースから検索加工し提示する栄養アドバイス部を備えた請求項 15 に記載の商品情報提供システム。

50 【請求項 17】 データベースは食品摂取における栄養

バランス状況及び個人の健康状態を示すデータに対応する食生活を含む生活についてのアドバイス情報を格納し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果及び顧客別情報記憶部に記憶された所定期間における健康生理データとに基づきデータベースから望ましい食生活や運動や健康的な生活についてのアドバイス情報をデータベースから検索加工し提示する健康アドバイス部を備えた請求項 1 5 または 1 6 に記載の商品情報提供システム。

【請求項 1 8】 情報処理部はカレンダー部を有し商品別に予め定められた購入後の所定の期間毎に購入者へ連絡すべき情報を検索し、前記カレンダー部からの購入後の経過期間情報に基づき商品関連情報を検索加工し送信する検索部及び加工部を備えた請求項 1 ないし 1 7 のいずれか一項に記載の商品情報提供システム。

【請求項 1 9】 情報処理部はカレンダー部を有し、顧客別情報記憶部は顧客情報入力部からの購入設備機器や購入商品の補修履歴、部品や消耗品等の購入履歴などの商品のメンテナンス情報を記憶し、情報処理部は前記カレンダー部からの購入後の経過期間情報及び前記顧客別情報記憶部のメンテナンス情報に基づき所定の期間毎に前もって消耗品交換または保守点検についての情報を検索加工し送信する検索部及び加工部を備えた請求項 1 8 に記載の商品情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】 本発明は小売店等での商品やサービスの販売時点での情報すなわち、販売日時、販売商品、価格、個数等を収集する POS (Point Of Sales) システムにおける顧客の購入情報にもとづき、購入品に関連する情報を外部データベースから検索し、購入した顧客に直接提供するシステムに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】 従来のこの種の購入商品の情報入力として広く一般的に用いられている POS 端末の情報を活用したシステムとして、特開平 7 - 1 7 5 8 5 8 号公報に記載されているような購入品と購入金額を家計簿の管理に応用するものが一般的であった (図 1 7)。

【0 0 0 3】 また、購入した商品に関する使い方などの情報は、添付のパッケージや添付の説明書などで提供され、紙面、表現手段に制約があり、十分な商品情報提供はされておらず、不特定多数に対する一般的な情報提供にすぎない。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、POS 端末の情報を家庭の情報端末で利用する方法では従来の個々のユーザーにとって本当に必要な情報の提供には至っていない。商品の複雑化、技術の高度化の中で、商品も持つ機能を十分に使いこなさせ、誤使用を未然に防

ぎ、安全性を確保するために、ユーザーの特性にあった十分かつ適切な内容の情報を、適宜、適当な方法で確実に伝えることは商品を提供するメーカー、流通にとっての非常に重要な責務である。いかに効率良く、確実にユーザーへの情報提供を行っていくかが重要な課題である。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記課題を解決するために、商品やサービスの購入時の情報である日時、商品、数量、価格等を入力する購入商品情報入力部と、購入者を特定する購入者情報入力部と、商品に関連した内容のデータベースを備え、購入品情報に基づきデータベースから購入された商品に関連する情報を検索、組み合わせ加工する情報処理を行い、顧客の情報端末へ送信するので、顧客は自分の購入した商品に関連する情報を自由に見ることができる。また、小売店等の販売管理に用いる POS 端末等からの購入品情報を応用利用を可能としたものである。

【0 0 0 6】

【発明の実施の形態】 商品やサービスの購入時の情報である日時、商品、数量、価格等を入力する購入商品情報入力部と、購入者を特定する購入者情報入力部と、商品に関連した内容のデータベースと、前記購入商品情報入力部からの購入品情報に基づき前記データベースから購入された商品に関連する情報を検索する検索部、前記購入商品情報入力部及び前記購入者情報入力部及び前記検索部からの情報を組み合わせ加工する加工部、前記加工部からの情報を記憶する第 1 の記憶部とから構成される情報処理部と、前記情報処理部からの情報を送信する第 1 の通信部と、前記第 1 の通信部と有線または無線の通信回線によって接続され前記第 1 の通信部からの情報を受信する第 2 の通信部、前記第 2 の通信部からの情報を記憶する第 2 の記憶部、前記第 2 の記憶部に記憶された情報を表示する表示部とから構成される顧客情報端末と、を有するものである。

【0 0 0 7】 そして、販売店で入力される購入時点での情報を応用し、個人が購入した商品に関連する、購入者に役立つ情報を、その商品の使用現場である購入者の家庭の情報端末にて提供するものである。

【0 0 0 8】 さらに、顧客情報端末は顧客が欲しい商品情報を選択するための選択部を有し、第 2 の通信部は前記選択部からの情報を第 1 の通信部に送信し、第 1 の通信部は第 2 の通信部からの情報を情報処理部に送信し、検索部は顧客の要求する商品情報を検索し、顧客情報端末に送信するものである。

【0 0 0 9】 そして、顧客が購入した商品関連情報の中から必要なもの、欲しいものを選択して表示させることができる。

【0 0 1 0】 さらに、データベースは料理献立や料理レシピを格納し、検索部は購入商品情報入力部からの顧客

が購入した食品や調味料等の調理材料情報に基づき購入品を使ってできる料理レシピを検索するものである。

【0011】そして、顧客は自分の購入した食品を使ってできる料理レシピ情報をタイムリーに自動的に入手できるので、主婦の最も面倒な家事である献立作成の作業を軽減することができる。

【0012】さらに、情報処理部は顧客の食品類の買い物情報に基づき、栄養バランスを診断する栄養判定部を備えたものである。

【0013】そして、顧客はどんな種類の食品をどれだけ購入したかによって、栄養バランスの良否を判定するので、栄養バランスのよい食事作り、家族の健康管理に役立つ。

【0014】顧客情報端末は顧客のプロフィールとしての氏名、住所、家族構成、年齢、趣味、ライフスタイル、食事の好み等を入力する顧客情報入力部を備え、第2の通信部は前記顧客情報入力部からの情報を第1の通信部に送信し、情報処理部は第1の通信手段からの情報を受信し、顧客の特性や趣味し好に対応した商品情報を検索し加工する検索部及び加工部を備えたものである。

【0015】そして、購入者及びその家族の家族特性、ライフスタイル、嗜好等に対応した商品関連情報を提供するので、より実用的な情報を効率よく提供することができる。

【0016】さらに、顧客情報入力部は顧客の住宅及び住宅設備に関する情報を入力する住宅情報入力部を備え、情報処理部は顧客の住宅や使用している住宅設備に対応した商品情報を検索加工する検索部及び加工部を備えたものである。

【0017】そして、商品の使用現場での住宅設備の状況に対応した、よりきめ細かな情報を提供することができる。

【0018】さらに、顧客情報入力部は顧客の家族の少なくとも一人分の身体的特徴、健康状態、生理データである身長、体重、身体寸法、血圧、心拍数、血糖値、尿たんぱく値、尿糖値、尿潜血、便潜血のうち少なくとも一つのデータを入力可能な健康情報入力部を備え、情報処理部は顧客の健康状態に対応した商品情報を検索加工する検索部及び加工部を備えたものである。

【0019】そして、商品の購入者の健康状態に考慮し、個々の健康状況に対応した商品情報を提供することができる。このことにより、薬品や健康関連商品で、安全や健康増進のために正しい使用や関連情報の提供が重要な商品においての情報提供に役立つ。

【0020】さらに、健康情報入力部は生理データ測定部を備えたものである。また、顧客情報入力部は第3の通信部を有し、顧客情報端末または情報処理部へのデータの送信が可能な携帯型であることを特徴とするものである。

【0021】そして、健康状態を管理するために重要な

生理データの入力作業が軽減され、さらに正確なデータの入力を行うことができる。

【0022】さらに、顧客情報入力部は販売側に備え、前記顧客情報入力部からの情報を情報処理部に送信するものである。

【0023】そして、情報検索に役立つ、顧客のプロフィール、健康状態、などの入力作業の手間が顧客サイドは不要になり、便利になる。

【0024】さらに、顧客情報端末は顧客情報入力部からの情報を記憶する顧客別情報記憶部を備え、情報処理部は顧客情報端末からの過去の顧客情報の記憶を元に顧客に必要な情報を検索加工する検索部および加工部とを備えたものである。

【0025】そして、顧客の過去の購入履歴に基づき、顧客のニーズにあった情報提供を行うことができる。

【0026】さらに、情報処理部は購入商品情報入力部からの情報及び顧客別の検索履歴または顧客情報入力部から入力された情報を顧客別に記憶する顧客別情報記憶部を備えたものである。

【0027】そして、顧客毎の詳細な情報の記憶を販売店側で行うので、顧客情報端末を簡素化することができ、さらに、販売店では顧客毎の情報を容易に入手することができる。

【0028】さらに、情報処理部は顧客別情報記憶部の情報または過去の選択部からの情報リクエスト履歴に基づき顧客別に好まれる情報の傾向を判断し好みに応じた情報を検索加工する検索部及び加工部を備えたものである。

【0029】そして、顧客の嗜好を自動的に判断し、嗜好に対応した情報提供を行うことができる。

【0030】さらに、情報処理部は顧客別情報記憶部に記憶された所有家電機器または耐久消費財の購入及び所有状況に対応した顧客別商品関連情報を検索加工し提供する検索部及び加工部を備えたものである。

【0031】そして、所有機器や設備の状況別の商品関連情報は個々の顧客の状況に合わせて情報を提供するので、より役に立つ情報を提供することができる。

【0032】栄養判定部は顧客別情報記憶部に記憶された顧客別の商品購入の履歴と過去の情報リクエスト状況に基づき、所定期間における栄養の偏り過不足等の栄養バランスを判定するものである。

【0033】そして、中長期の食品購入履歴に基づいて、ばらつきを考慮したより精度の高い栄養判定を行うことができる。

【0034】さらに、データベースは食品摂取における栄養バランス状況に対応する食生活についてのアドバイス情報を格納し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果に基づき望ましい食生活についてのアドバイス情報をデータベースから検索加工し提示する栄養アドバイス部を備えたものである。

【0035】そして、顧客の食品購入に元に栄養バランス判定を行い、さらに、個々の顧客の状況に応じた望ましい栄養バランスのためのアドバイス情報の提供を行うので、顧客の健康管理、健康的な食事作りに役に立つ情報提供を行うことができる。

【0036】さらに、データベースは食品摂取における栄養バランス状況及び個人の健康状態を示すデータに対応する食生活を含む生活についてのアドバイス情報を格納し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果及び顧客別情報記憶部に記憶された所定期間における健康生理データとに基づきデータベースから望ましい食生活や運動や健康的な生活についてのアドバイス情報をデータベースから検索加工し提示する健康アドバイス部を備えたものである。

【0037】そして、栄養摂取状態、健康状態に基づいて健康的な生活のための食生活だけでなく、運動や生活全般についてのアドバイス情報を提供することができる。

【0038】さらに、情報処理部はカレンダー部を有し商品別に予め定められた購入後の所定の期間毎の購入者へ連絡すべき情報を検索し、前記カレンダー部からの購入後の経過期間情報に基づき商品関連情報を検索加工し送信する検索部及び加工部を備えたものである。

【0039】そして、商品購入後、見落としがちな時間を経てから必要になる情報を時間経過に応じて送信するので、確実に提供することができる。

【0040】さらに、情報処理部はカレンダー部を有し、顧客別情報記憶部は顧客情報入力部からの購入設備機器や購入商品の補修履歴、部品や消耗品等の購入履歴などの商品のメンテナンス情報を記憶し、情報処理部は前記カレンダー部からの購入後の経過期間情報及び前記顧客別情報記憶部のメンテナンス情報に基づき所定の期間毎に前もって消耗品交換または保守点検についての情報を検索加工し送信する検索部及び加工部を備えたものである。

【0041】そして、顧客のメンテナンス実施状況に応じて、個人別メンテナンス関連情報を提供することができる。

【0042】

【実施例】以下、本発明の実施例について図面を用いて説明する。

【0043】（実施例1）

<ハードウェア構成>図1は実施例1の商品情報提供システム1の販売店側のハードウェア構成であり、図2は顧客側の情報端末のハードウェア構成であり、図3は機能ブロック図であり、図4は動作、作用を示すフローチャート図であり、図5はディスプレイ表示の平面図である。

【0044】図1において、CPU101、メモリ102、ハードディスク103、通信制御部104、表示制

御部105、ディスプレイ106、入出力制御部107、キーボード108、バーコードリーダー109、カードリーダー110から成る部分は従来の一般的なコンピュータを利用したPOSシステムのハードウェア構成に相当するので、ハードウェアの詳細については説明を省略する。

【0045】図2は商品情報提供システムの顧客側で扱う顧客情報端末のハードウェア構成である。図2において、CPU201、メモリ202、ハードディスク203、通信制御部204、LCD制御部205、表示部としてのLCDパネル206、入出力制御部207、キーボード208、タブレット209から成る部分については、従来の一般的なコンピュータのハードウェア構成に相当するので、ハードウェアの詳細については説明を省略する。

【0046】LCDパネル206とタブレット209とは入力位置と表示位置とを対応させる。

【0047】<機能ブロック図>図3は本発明の実施例1の商品情報提供システム301の機能ブロック図である。

【0048】図3において、商品情報提供システム301は、販売店側で商品の購入時の情報を入力する購入商品情報入力部302と、購入者を特定する情報を入力する購入者情報入力部303と、商品に関連する情報を格納するデータベース304と、顧客の購入した商品に関連する情報をデータベースから検索する検索部305、検索した情報を購入商品情報入力部302からの商品購入の情報及び購入者情報入力部303からの顧客情報と合わせ加工する加工部306、顧客の食品関連の購入品情報に基づき栄養バランスがよいかどうか判定する栄養判定部307、検索、加工、判定された情報を購入者情報入力部及び購入商品情報入力部からの情報と対応付けて記憶する第1の記憶部とからなる情報処理部309と、第1の記憶部308と、第1の記憶部308からの情報を顧客側の情報端末に送信するとともに顧客側の情報端末からの情報を受信する第1の通信部310と、第1の通信部310と接続され第1の通信部310からの情報を顧客側で受信するとともに情報処理部309へ情報を送信する第2の通信部311と、第2の通信部311からの情報を記憶する第2の記憶部312、第2の記憶部からの情報を表示するための表示部313と、顧客が送られてきた情報のうち見たい情報を選択する選択部314とから構成される顧客情報端末315とによって構成されている。

【0049】<フローチャート>次に動作について図4及び図5を用いて説明する。図4は実施例1の操作を示すフローチャートである。図5は顧客情報端末の表示部の表示例である。

【0050】顧客がスーパーマーケットなどの販売店にて、食品や日用品等を購入した場合を例にとりて具体的

に説明する。顧客が店で買い物をする際に購入品情報入力部302としての、レジのPOS端末等から購入商品に付与されているバーコードをバーコードリーダー109から読み取り購入商品に関する情報である商品、価格、購入日時、購入店等の情報の入力を行う(ステップ401)。その際に個人を特定する情報を持つ顧客カードをカードリーダー110にて読込ませ、購入者情報の入力を行う(ステップ402)。購入商品情報と購入者情報は対応付けられ、誰が何を買ったかの情報として販売店側の情報処理部309へ送信される(ステップ403)。

【0051】次に、情報処理部309において、検索部305が顧客の購入した商品に関連する情報及びその日の購入した食品を使ってできる献立や料理レシピをデータベースから検索し(ステップ404)、栄養判定部307は購入品された食品情報に基づき、栄養バランスがよいかどうかを判定する(ステップ405)。加工部306において、検索されたデータと、栄養判定部307からの判定結果情報と、顧客が購入した商品のリストとを顧客にわかりやすい形で提示するように加工する(ステップ406)。加工部306からの情報は第1の記憶部308に記憶され(ステップ407)、第1の通信部310及び第2の通信部311を通じて顧客情報端末315に送信され(ステップ408)、第2の記憶部312に記憶される(ステップ409)。第2の記憶部312に送信された情報は、顧客情報端末315の表示部313としてのLCDパネル206に図5に示すように、購入商品のリスト、購入商品の詳細情報リスト、栄養判定結果、料理レシピ候補を表示する(ステップ410)。

【0052】栄養判定部307は、栄養バランスよく食べるための食品の栄養成分の特徴で分類した食品群(主食、肉魚、豆類、乳製品卵、淡色野菜、緑黄色野菜、きのこ・こんにゃく、海藻、嗜好品)から偏りなく買い物ができているかどうかによってその顧客の栄養バランスの良否を判定する。

【0053】さらに、顧客が表示された詳細情報のリストから見たい情報を選択部314から選択し、情報を入力し、表示させる具体的動作について説明する。

【0054】顧客は表示された栄養判定結果を参考に、献立を立て、LCDパネル206に表示された料理レシピの候補から作りたい料理名を選択部314としてのタブレット209またはキーボード208を用いて選択する(ステップ411)。選択部314からの選択情報は第2の通信部311に送信され、第1の通信部310は第2の通信部311からの情報を受信する(ステップ412)。第1の通信部310は第1の記憶部308から顧客の選択した料理レシピを受信し(ステップ413)、第2の通信部311は第1の通信部310からの情報を顧客情報端末315へ送信し(ステップ41

4)、第2の記憶部312に送信する(ステップ415)。第2の記憶部からの情報はLCDパネル206に表示される(ステップ416)。

【0055】購入した商品の使い方等の商品関連の詳細情報も料理レシピ同様に、選択部314を顧客が操作することにより顧客情報端末315に情報を受信し、LCDパネル206に表示する。

【0056】以上のように本実施例によれば、売り場で広く普及しているPOS端末などの情報に基づき、その商品に関連した情報を自動的に検索し、購入者の家庭に送信するので、顧客は自分の購入した商品についてパッケージや添付の書類にはない詳細な情報を商品の使用現場である家庭において、購入した商品をいちいち指定することなく、自動的に受信し、好みのものを選択して見ることができる。また、購入した食品をいちいち入力することなく、栄養バランスの良否の判定や購入した食品を使ってできる料理レシピ情報を受けることができ、主婦の一番の面倒な家事である献立を考える手間や心理的負担を軽減する。顧客は自分の購入した商品に関連した情報で入手可能なもののリストの中から選択して情報を入力できるので、情報が氾濫することなく欲しい情報のみを入手でき、顧客側の情報端末への負荷を軽くすることができる。

【0057】また、商品を提供するメーカーや流通サイドにおいても、顧客のニーズに対応したきめ細やかな情報提供を行うことができ、顧客満足を高めることができるだけでなく、商品購入のリピートにもつながる。

【0058】(実施例2)

<機能ブロック図>図6は本発明の実施例2の商品情報提供システムを示す機能ブロック図である。

【0059】本実施例2において、実施例1と異なる点は顧客が自分自身や家族についてのプロフィールデータである氏名、住所、家族構成、年齢、趣味、ライフスタイル、食事の好み等を入力する顧客情報入力部316を備え、さらに顧客情報入力部316は、顧客の住宅及び住宅設備に関する情報を入力する住宅情報入力部317と、顧客の家族の少なくとも一人分の身体的特徴、健康状態、生理データである身長、体重、身体寸法、血圧、心拍数、血糖値、尿たんぱく値、尿糖値、尿潜血、便潜血のうち少なくとも一つのデータを入力可能な健康情報入力部318と、販売店側の情報処理部から受信した購入商品の情報、リクエスト受信した商品関連情報または、顧客情報入力部316からの情報を記憶する顧客別記憶部319を備え、第2の通信部は前記入力部からの情報を第1の通信部に送信し、情報処理部は第1の通信手段からの情報を受信し、情報処理部309は顧客の特性や趣味嗜好や健康状態や住まいや設備機器の状態に対応した商品情報を検索し加工する検索部305及び加工部206から構成されることを特徴した点が異なる。

【0060】なお、実施例1と同一符号のものは同一構

造を有し、説明は省略する。

<フローチャート>次に動作について図7及び図8を用いて説明する。

【0061】図7は本実施例の顧客情報を入力し送信する動作を示すフローチャートである。図8は顧客情報入力時のLCDパネルの平面図である。

【0062】顧客が売り場で買い物をする際の購入品に関する情報と購入者を特定する情報の入力の実施例1と同様である(ステップ701、702)。誰がいつ何をいくらで買ったかの購入に関する情報は情報処理部309へ送信され(ステップ703)、加工部306で加工され(ステップ704)、加工された情報は第1の記憶部308に記憶される(ステップ705)。さらに第1の通信部310は第1の記憶部308に記憶された購入品に関する情報を購入者の顧客情報端末に送信し(706)、第2の記憶部に記憶される(707)。顧客は自宅の顧客情報端末315でどこで何を買ったかを見ることができる。

【0063】購入した商品に関する詳細なデータが欲しい場合、顧客が顧客情報入力部316、住宅情報入力部317、健康情報入力部318、から家族のプロフィール、嗜好、ライフスタイル、健康状態、住まい環境、住宅設備に関する情報を入力し、自らの特性やニーズに対応した情報を検索させる動作について説明する。顧客情報入力部316は第2の記憶部312に記憶された顧客情報を入力するためのフォーマット901を図8に示すように、LCDパネルに表示させる。顧客は所定のフォーマット901に従って、キーボード208またはタブレット209を用いてデータの入力を行う(ステップ709)。入力が終了すると、送信ボタン902を押して、販売店側に送信する。送信ボタン902を押すと入力された情報は第2の記憶部312に記憶し(ステップ710)、第2の通信部に送信し、第2の通信部より第1の通信部を通して(ステップ709)、入力された情報は情報処理部309へ送信される(ステップ712)。情報処理部309の検索部305は、第1の記憶部の顧客の購入品情報及び顧客情報入力部317から送信された情報顧客に基づき、顧客のプロフィール、健康状態、嗜好に対応した商品関連情報をデータベース304から検索し(ステップ713)、加工部306は検索された情報を顧客の購入品情報を購入者にわかりやすく提供するために情報の加工を行う(ステップ714)。加工された情報は対応する顧客の顧客情報端末315に実施例1同様に送信される。

【0064】レシピ検索においては、顧客の健康状態(病気の有無と種類、アレルギー疾患、肥満度等)または生理データの記録(血圧、体重、血糖値、尿たんぱく)、家族の嗜好、過去の詳細メニューリクエスト履歴に対応した、当日または当日以前の所定の期間に購入した食品を使ってできるメニューの検索を行うことがで

き、より顧客のニーズにマッチし、実用的な料理レシピの提供を行うことができる。

【0065】栄養判定部307の栄養判定は、顧客別情報記憶部319に記憶された所定期間の食品購入履歴及び家族の健康状態、健康履歴に基づき栄養バランスの良否の判定を行う。たとえば卵は良質なたん白質であるが、高コレステロール値の家族や、卵アレルギーのある場合は、当然購入はない。そこで、卵の代わりになる良質のたん白質の摂取が行われているかどうかについて栄養バランスの判定を行う。

【0066】情報処理部309は、家族の健康状態を考慮し、所有している調理器具でできる料理レシピの提供を行う。たとえば、卵アレルギーのアトピーの子供がいる場合、卵の代用品に関する商品情報提供や行といったように、卵を使わないレシピの提供をも行い、また電子レンジ所有者には積極的に電子レンジを使うメニューの提案を行い、圧力鍋の所有者には圧力鍋でできるメニューの提供を行う。以上のように個々の顧客の健康状態及び所有機器に対応したより実用的なメニューレシピの提供を行うことができる。

【0067】また住宅の環境や設備の状況にも対応した商品関連情報の提供を行う。たとえば、トイレの掃除関連商品の使い方情報についても、温水洗浄便座に酸性洗剤を直接かけて便座割れや変色のトラブルがあるが、その所有者にはより詳しい使用上の注意やおすすめ商品に関する情報を提供することができる。また浴室用洗剤についてもガス追い炊き機能のあるものと電気温水器の落とし込み式のものでは注意事項が異なる。このように従来商品のパッケージの限られた情報提供の場であらゆる人が多くの人が見るという前提で重要なこと関係の無いことなど様々に混在して提供され、充分に見られていないケースも多いが、本実施例によれば、顧客が本当に必要な情報のみ詳細に提供することができる。特に安全に関連するガス機器等住宅設備機器について使用上の注意事項を個々の住まいの状況に対応させて情報提供することにより、確実に顧客に知らしめるのに有効である。

【0068】(実施例3)

<機能ブロック図>図9は本発明の実施例3の商品情報提供システムの構成を示す機能ブロック図である。

【0069】本実施例3において、実施例2と異なる点は健康情報入力部318は身体計測データ、生理データ、顧客自身の健康に関するデータの計測を行う生理データ測定部320と、測定データを送信する第3の送信部321を備え、顧客情報端末とは分離可能な形態型であることである。なお、実施例2と同一符号のものは同一構造を有し、説明は省略する。

【0070】<フローチャート>生理データ測定部319は体重と血圧を測定可能とした健康情報入力部318である場合を例に図10のフローチャートを用いて動作について説明する。

【0071】顧客は肥満と高血圧の治療のための宅配の健康食を購入したとする。まず、毎朝、顧客は体重と血圧を生理データ測定部320より計測すると（ステップ1001）、測定データは第3の通信部より第2の通信部に送信され（ステップ1002）、顧客別情報記憶部319に記憶される（ステップ1003）。第2の送信部で受信されたデータは測定日付データ及び顧客別情報記憶部319に記憶されているその他の身長や嗜好等のデータや時系列の過去のデータと共に第2の通信部より第1の通信部へ送信される（ステップ1003）。販売側の情報処理部309において、顧客の体重や血圧値の履歴に対応した健康食品を使った調理法やその他の献立についてのアドバイス情報をデータベースから検索する（ステップ1005）。検索された情報は顧客の購入商品情報とともに加工され（ステップ1006）、実施例1または2同様に顧客側の情報端末に送信される。

【0072】以上のように本実施例によれば、体重、血圧、血糖値等のように日々変化し、正確で客観的な測定データが重要な健康データの測定部を有しその測定データが自動的に入力され、身長やプロフィール等のあまり変化しないデータとともに情報処理部へ送信され、送信されたデータに基づいて商品情報の検索を行うので、顧客の毎日の測定データの入力の手間が省けるだけでなく常に正確なデータに基づいた検索データの提供を受けることができる。

【0073】また、顧客情報端末とは別の構成とし、携帯型であり、測定したデータを顧客情報端末に送信するので、体重は脱衣所、血圧は寝室、尿糖値はトイレでといった風にそれぞれのデータに最適な測定場所、時間帯において測定し、測定データを第3の通信部を通じて顧客情報端末または、情報処理部へ送信し、データ入力を行うことができるので、日常の生活において生理データの測定データ入力作業が非常に簡単になる。

【0074】（実施例4）

<機能ブロック図>図11は本発明の実施例4の商品情報提供システムを示す機能ブロック図である。

【0075】本実施例4において、実施例3と異なる点は顧客情報入力部316及び顧客別の情報を記憶するための顧客別情報記憶部319を販売側の情報処理部309に備えた点異なる。情報処理部309販売店において、実施例2または3同様に顧客情報入力部318から顧客のプロフィールや特性等の入力を行う。購入者情報入力部303からの購入者を特定する情報と対応つけられた購入商品情報入力部302からの購入商品の情報及び、顧客別情報入力部からの情報は、顧客別情報記憶部319において、顧客別に記憶される。検索部は実施例3同様に顧客からの購入商品関連の情報表示のリクエストに対して、顧客別情報記憶部319に記憶された情報に基づき、顧客のプロフィールや嗜好や過去のリクエスト履歴に対応した情報の検索を行い、顧客に提供する。

【0076】以上の様に本実施例では、商品やサービスを提供する側の販売店、健康管理施設、医療施設、介護施設等では既に顧客の住所、家族構成、商品薬品等の提供履歴を記録して、商品サービスの提供を行っているケースが多いが、そのデータを活用することにより、商品、サービスを提供する際に顧客の過去の購入履歴に従って、顧客別に必要な情報提供を行うことができる。また情報のリクエスト履歴も考慮し、各顧客の情報の欲する情報のカテゴリー分類を行い、情報の好みの傾向を判断し、優先順位をつけて提供するので、顧客の好みの情報の提供を行うことができる。

【0077】顧客においても、データ入力の手間が省けるだけでなく、必要なデータを情報処理部で管理しているので、データ管理の手間がかからず、顧客情報端末の負荷が少なく、データを記憶するためのメモリをたくさん持つ必要がないという点において顧客に有利である。

【0078】（実施例5）

<機能ブロック図>図12は実施例5の商品情報提供システムの機能ブロック図である。

【0079】本実施例において実施例3または実施例4と異なる点は、データベース304は食品摂取における栄養バランス状況及び個人の健康状態を示すデータに対応する食生活を含む生活についてのアドバイス情報を格納し、栄養判定部307は顧客別情報記憶部316に記憶された顧客別の商品購入の履歴と過去の情報リクエスト状況に基づき、所定期間における栄養の偏り過不足等の栄養バランスを判定し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果及び顧客別情報記憶部に記憶された所定期間における健康生理データとに基づきデータベースから望ましい食生活についてのアドバイス情報を検索加工する栄養アドバイス部322と、運動や健康管理についてのアドバイス情報をデータベースから検索加工する健康アドバイス部323を備えていることである。

【0080】<フローチャート図>次に顧客が糖尿病の場合を例に栄養アドバイス部322及び健康アドバイス部323動作について図13のフローチャートを用いて説明する。

【0081】情報処理部309は顧客別情報記憶部319に記憶された過去1週間の商品の商品購入情報、料理レシピのリクエスト履歴、健康状態（この場合糖尿病）、健康生理データである体重と血糖値データを受信し（ステップ1401）、栄養判定部は307は購入食品を糖尿病学会の糖尿病食事療法に用いる食品分類別に分類し、食品摂取が各食品群からバランスよく摂取できているかどうかによって栄養バランスの良否の判定を行う（ステップ1402）。し好品やアルコールの購入状況の判定の材料とする。栄養アドバイス部322は栄養判定部307からの判定結果及び顧客の健康情報に基づき顧客の健康状態と食品摂取の実態に基づき食生活についてのアドバイス情報をデータベース304より検索

し、(ステップ1404)。さらに健康アドバイス部323は顧客のプロフィール、商品購入実態、健康生理データの記録に基づき、顧客に対応する生活についてのアドバイス情報をデータベース304より検索する(ステップ1405)。加工部は、顧客別情報記憶部からの購入商品の情報、料理レシピ情報リクエスト履歴図、栄養判定結果、(1501)栄養アドバイス情報(1503)、健康生理データグラフ(1502)健康アドバイス情報(1503)を顧客にわかりやすいように加工し、顧客情報端末315に送信し、図14に示すようにLCDパネル206に表示させる。

【0082】以上のように、本実施例によれば、顧客別の食品購入の履歴を元に、栄養判定を行うので日々の購入品情報よりばらつきのない、正確な判定を行うことができる。また、購入品情報に健康情報の記録も併せて、栄養アドバイスや健康アドバイス情報の提供を行い、その時々顧客の実態に促したアドバイス情報の提供を行うことができるので、顧客の健康的な生活改善に役立つ。

【0083】(実施例6)

＜機能ブロック図＞図15は実施例6の商品情報提供システムの機能ブロック図である。

【0084】本実施例において、実施例3と異なる点は、商品の購入日時等を起点とするし所定の期間の経過をカウントするカレンダー部324を有し、顧客別情報記憶部319は顧客情報入力部316から購入商品の補修履歴、部品や消耗品等の購入履歴などの商品のメンテナンス情報を記憶し、情報処理部はメンテナンス情報とカレンダー部324からの商品別に予め定められた購入後の期間経過の情報を受信し、メンテナンス実態に基づき、所定の期間毎に前もって消耗品交換または保守点検についての情報を検索加工し顧客情報端末に送信する点が異なる。

【0085】＜フローチャート図＞住宅のメンテナンスに使用した場合を例に説明する。

【0086】図16は本実施例の動作を示すフローチャートである。まず住宅会社において定期的にメンテナンスが必要な項目とその項目についてのメンテナンスの間隔の期間が第1の記憶部に記憶されている。顧客の住宅引き渡し時に住宅購入の入力(ステップ1701)と購入者情報の入力(ステップ1702)を行い、入力情報を情報処理部へ送信する。顧客情報入力部において住宅の引き渡しから起算して、または前回のメンテナンスの実施日から起算して、カレンダー部234は項目毎の所定の期間が経過するとからメンテナンス時期の情報を検索部に送信し、検索部は該当項目のメンテナンスに関する情報を第1の通信部及び第2の通信部より顧客情報端末に送信する。

【0087】以上のように本実施例によれば、定期的に
行うべきメンテナンスに関する情報を自動的に顧客側の

顧客情報端末に送信するので、住宅築後の経過期間毎の詳細なメンテナンスの仕方等の情報をタイムリーに提供することができるので、住宅の維持管理に有効である。

【0088】

05 【発明の効果】以上説明したように本発明の請求項1に係る商品情報提供システムは商品やサービスの購入時の情報である日時、商品、数量、価格等を入力する購入商品情報入力部と、購入者を特定する購入者情報入力部と、商品に関連した内容のデータベースと、前記購入商品情報入力部からの購入品情報に基づき前記データベースから購入された商品に関連する情報を検索する検索部、前記購入商品情報入力部及び前記購入者情報入力部及び前記検索部からの情報を組み合わせ加工する加工部、前記加工部からの情報を記憶する第1の記憶部とから構成される情報処理部と、前記情報処理部からの情報を送信する第1の通信部と、前記第1の通信部と有線または無線の通信回線によって接続され前記第1の通信部からの情報を受信する第2の通信部、前記第2の通信部からの情報を記憶する第2の記憶部、前記第2の記憶部に記憶された情報を表示する表示部とから構成される顧客情報端末と、を備えた構成としているので、商品の売り場での購入商品情報と購入者を特定する情報に基づき、商品に関連した情報をデータベースから検索し、購入者の情報端末に送信するので、顧客は自分の購入した商品をもっと便利に使うための情報を自動的に商品の使用現場で手軽に見ることができるという効果がある。

【0089】また、請求項2に係る商品情報提供システムは、顧客情報端末は顧客が欲しい商品情報を選択するための選択部を備え、第2の通信部は前記選択部からの情報を第1の通信部に送信し、第1の通信部は第2の通信部からの情報を情報処理部に送信し、検索部は顧客の要求する商品情報を検索するので、購入者は購入商品関連情報のうち、欲しいもののみを選択して見ることができる。

35 【0090】また、請求項3に係る商品情報提供システムは、データベースは料理献立や料理レシピを格納し、検索部は購入商品情報入力部からの顧客が購入した食品や調味料等の調理材料情報に基づき購入品を使ってできる料理レシピを検索するので、顧客は自分の買った商品を入力して料理レシピを検索する手間が不要で、自分の買ったものでできる料理レシピ情報をタイムリーに提供することができるので、毎日の献立作成作業を軽減することができるという効果がある。

45 【0091】また、請求項4に係る商品情報提供システムは、顧客の食品類の買い物情報に基づき、栄養バランスを診断する栄養判定部を備えているので、顧客の食品購入状況を元に自動的に栄養バランスの良否がわかるという効果がある。

50 【0092】また、請求項5に係る商品情報提供システムは、顧客のプロフィールとしての氏名、住所、家族構

成、年齢、趣味、ライフスタイル、食事の好み等を入力する顧客情報入力部を備え、第2の通信部は前記顧客情報入力部からの情報を第1の通信部に送信し、情報処理部は第1の通信手段からの情報を受信し、顧客の特性や趣味し好に対応した商品情報を検索し加工するので、商品購入者個人個人のニーズに対応した商品関連情報を提供することができるという効果がある。

【0093】また、請求項6に係る商品情報提供システムは、住宅及び住宅設備に関する情報を入力する住宅情報入力部を備え、情報処理部は顧客の住宅や使用している住宅設備に対応した商品情報を検索加工するので、購入者の住宅環境に対応したより実用的な情報の提供を行うことができるという効果がある。

【0094】また、請求項7に係る商品情報提供システムは、顧客の家族の少なくとも一人分の身体的特徴、健康状態、生理データである身長、体重、身体寸法、血圧、心拍数、血糖値、尿たんぱく値、尿糖値、尿潜血、便潜血のうち少なくとも一つのデータを入力可能な健康情報入力部を備え、情報処理部は顧客の健康状態に対応した商品情報を検索加工する検索部及び加工部から構成されているので、購入した商品の使用者の健康状態に対応した商品に関連した情報を提供することができるという効果がある。

【0095】また、請求項8に係る商品情報提供システムは、生理データ測定部を備え測定データの入力を自動的に行うので、健康や身体の状態に関する計測データの入力の手間がなくなり、かつ正確なデータの入力を行えるという効果がある。

【0096】また、請求項9に係る商品情報提供システムは、顧客情報入力部は第3の通信部を有し、顧客情報端末または情報処理部へのデータの送信が可能な携帯型であることを特徴としているので、生理データの測定がどこでも行え、データの入力も通信を使い自動的に行うことができるので、生理データの測定、入力が便利になるという効果がある。

【0097】また、請求項10に係る商品情報提供システムは、顧客情報入力部は販売側に備え、前記顧客情報入力部からの情報は情報処理部に送信するので、顧客にとってプロフィールなどの入力の手間が不要であるという効果がある。

【0098】また、請求項11に係る商品情報提供システムは、顧客情報入力部からの情報を記憶する顧客別情報記憶部を備え、情報処理部は顧客情報端末からの過去の顧客情報の記憶を元に顧客に必要な情報を検索加工するので、一度入力したプロフィールなどの顧客情報は都度入力することなく、顧客特性やし好に対応した情報検索を行うことができる。健康情報のように過去からの蓄積されたデータに基づき健康状態を正確に把握し、情報提供を行うことができる。

【0099】また、請求項12に係る商品情報提供シ

テムは、情報処理部が購入商品情報入力部からの情報及び顧客別の検索履歴または顧客情報入力部から入力された情報を顧客別に記憶する顧客別情報記憶部を備えているので、顧客側の情報端末の負荷を軽減し、データを記憶するためのメモリをたくさん持つ必要がないという効果がある。

【0100】また、請求項13に係る商品情報提供システムは、情報処理部は顧客別情報記憶部の情報または過去の選択部からの情報リクエスト履歴に基づき顧客別に好まれる情報の傾向を判断し好みに応じた情報を検索加工する検索部及び加工部を備えているので、顧客が必要とするであろう情報や好みの情報を判断して自動的に検索し、提供するという効果がある。

【0101】また、請求項14に係る商品情報提供システムは、情報処理部は顧客別情報記憶部に記憶された所有家電機器または耐久消費財の購入及び所有状況に応じて顧客別に対応した商品関連情報を検索加工し提供する検索部及び加工部を備えているので、顧客の家電機器や耐久消費財の所有または使用実態に対応した、購入商品関連情報の提供を行うことができるという効果がある。

【0102】また、請求項15に係る商品情報提供システムは、栄養判定部は顧客別情報記憶部に記憶された顧客別の商品購入の履歴と過去の情報リクエスト状況に基づき、所定期間における栄養の偏り過不足等の栄養バランスを判定するので、1週間や1ヶ月といった中、長期間における食品購入の実態に基づき、食品購入の傾向をより正確に認識した上でのメニューレシピの提供、栄養バランス判定を行うことができるといった効果がある。

【0103】また、請求項16に係る商品情報提供システムは、データベースは食品摂取における栄養バランス状況に対応する食生活についてのアドバイス情報を格納し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果に基づき望まし食生活についてのアドバイス情報をデータベースから検索加工し提示する栄養アドバイス部を備えているので、顧客は健康的な食生活へと改善するためのより具体的な個別アドバイスを受けることができるといった効果がある。

【0104】また、請求項17に係る商品情報提供システムは、データベースは食品摂取における栄養バランス状況及び個人の健康状態を示すデータに対応する食生活を含む生活についてのアドバイス情報を格納し、情報処理部は栄養判定部からの顧客の栄養判定結果及び顧客別情報記憶部に記憶された所定期間における健康生理データとに基づきデータベースから望ましい食生活や運動等の健康的な生活についての個別のアドバイス情報をデータベースから検索加工し提示する健康アドバイス部を備えているので、顧客の生活実態や健康状態に応じた、具体的な健康生活のためのアドバイスを提供することができるという効果がある。

【0105】また、請求項18に係る商品情報提供シ

テムは、情報処理部はカレンダー部を有し商品別に予め定められた購入後の所定の期間毎に購入者へ連絡すべき情報を検索し、前記カレンダー部からの購入後の経過期間情報に基づき商品関連情報を顧客情報端末に自動送信することを特徴としているので、商品購入後期間が過ぎてから必要な情報や時間経過とともに忘れがちになる情報をタイムリーに提供することができるという効果がある。

【0106】また、請求項19に係る商品情報提供システムは、情報処理部はカレンダー部を有し、顧客別情報記憶部は顧客情報入力部からの購入設備機器や購入商品の補修履歴、部品や消耗品等の購入履歴などの商品のメンテナンス情報を記憶し、情報処理部は前記カレンダー部からの購入後の経過期間情報及び前記顧客別情報記憶部のメンテナンス情報に基づき所定の期間毎に前もって購入商品のメンテナンスについての情報を検索加工し送信する検索部及び加工部を備えているので、購入後のアフターサービスに役立ち、商品のメンテナンスをきちんと管理できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1の商品情報提供システムの販売店側のハードウェア構成を示す図

【図2】同実施例1の商品情報提供システムの顧客側のハードウェア構成を示す図

【図3】同実施例1の商品情報提供システムの機能ブロック図

【図4】同実施例1の商品情報提供システムの情報処理を示すフローチャート

【図5】同実施例1の商品情報提供システムによる情報提供の際の顧客情報端末の表示画面の一例を示す図

【図6】本発明の実施例2の商品情報提供システムの機能ブロック図

【図7】同実施例2の商品情報提供システムの情報処理を示すフローチャート

【図8】同実施例2の商品情報提供システムによる情報提供の際の顧客情報端末の表示画面の一例を示す図

【図9】本発明の実施例3の商品情報提供システムの機能ブロック図

【図10】同実施例3の商品情報提供システムの情報処理を示すフローチャート

【図11】本発明の実施例4の商品情報提供システムの機能ブロック図

【図12】本発明の実施例5の商品情報提供システムの機能ブロック図

05 【図13】同実施例5の商品情報提供システムの情報処理を示すフローチャート

【図14】同実施例5の商品情報提供システムによる情報提供の際の顧客情報端末の表示画面の一例を示す図

10 【図15】本発明の実施例6の商品情報提供システムの機能ブロック図

【図16】同実施例6の商品情報提供システムの情報処理を示すフローチャート

【図17】従来のPOS端末情報応用システムの機能ブロック図

15 【符号の説明】

301 商品情報提供システム

302 購入商品情報入力部

303 購入者情報入力部

304 データベース

20 305 検索部

306 加工部

307 栄養判定部

308 第1の記憶部

309 情報処理部

25 310 第1の通信部

311 第2の通信部

312 第2の記憶部

313 表示部

314 選択部

30 315 顧客情報端末

316 顧客情報入力部

317 住宅情報入力部

318 健康情報入力部

319 顧客別情報記憶部

35 320 生理データ測定部

321 第3の通信部

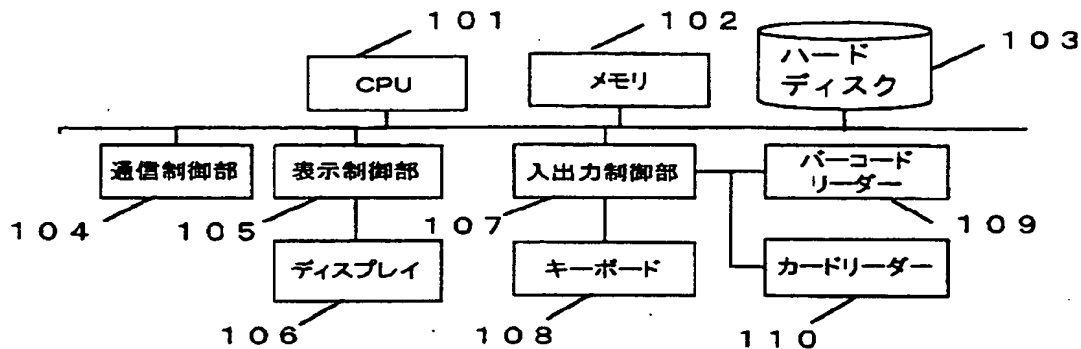
322 栄養アドバイス部

323 健康アドバイス部

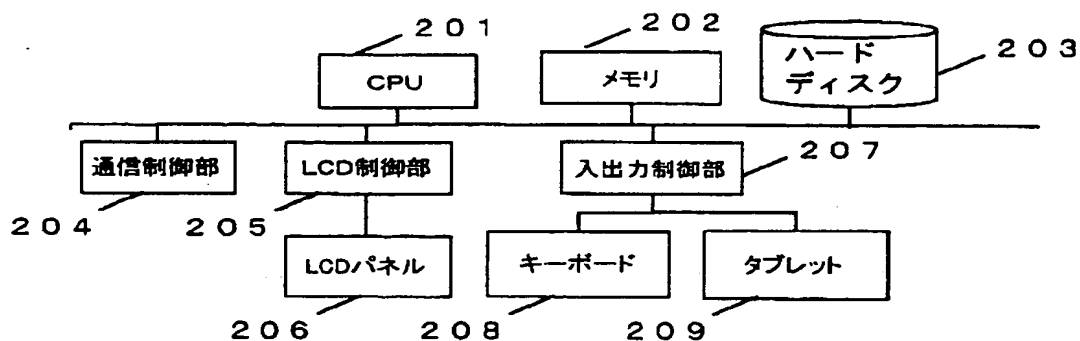
324 カレンダー部

40

【図1】



【図2】

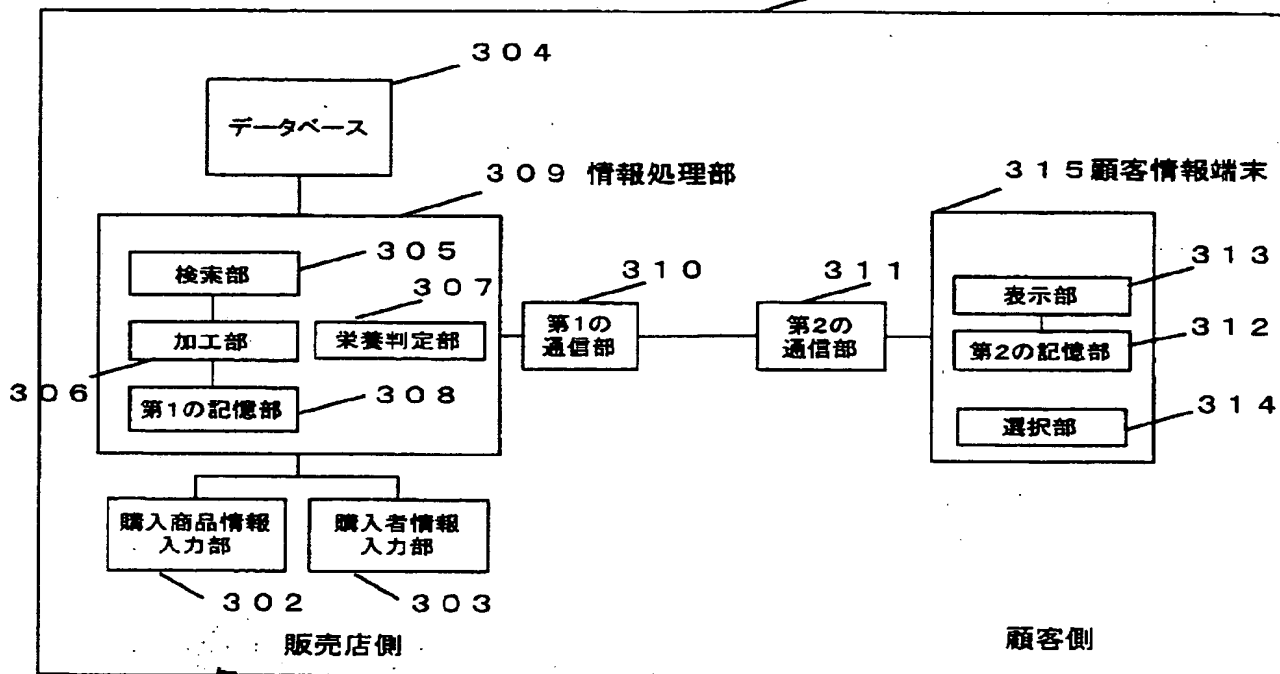


【図5】

◆お買い物記録			◆求差判定	
△スーパー森島店	97. 3. 21		・判定	○
顧客ID: 212365	松下様		・コメント	
購入品名	数量	価格	乳製品・卵の購入がありませんでしたが、1日2品は食べるようにしましょう。 野菜は淡色野菜、緑黄色野菜ともに食べるようにしましょう。 嗜好品が多いようですが、健康のためには1日1品までにしましょう。 ビタミンC補給の果物も今ならいちごがお奨め	
ミンチ(合いびき)	1	1500		
チョコレート	1	150		
ピーナッツ	1袋	200		
にんじん	2本	200		
れんこん	1個	250		
キャベツ	1個	150		
きゅうり	5本	250		
かぼちゃ	1/2個	180		
豆腐	1丁	100		
納豆	1	150		
えのき	1袋	110		
アイスクリーム	2個	200		
いちご	1	350		
△△冷凍ギョーザ	1	280		
○○トイレットペーパー	1	350		
	合計	4470		
			◆商品情報リスト	
			1. 納豆料理 2. 冷凍ギョーザ一応用料理 3. トイレットペーパーの使い方 4. ミンチ肉の料理	
			◆献立リスト	
			1. ロールキャベツ 2. 春野菜のスバゲティ 3. 豆腐田楽 4. かぼちゃのいとこ煮	

【図3】

301 商品情報提供システム

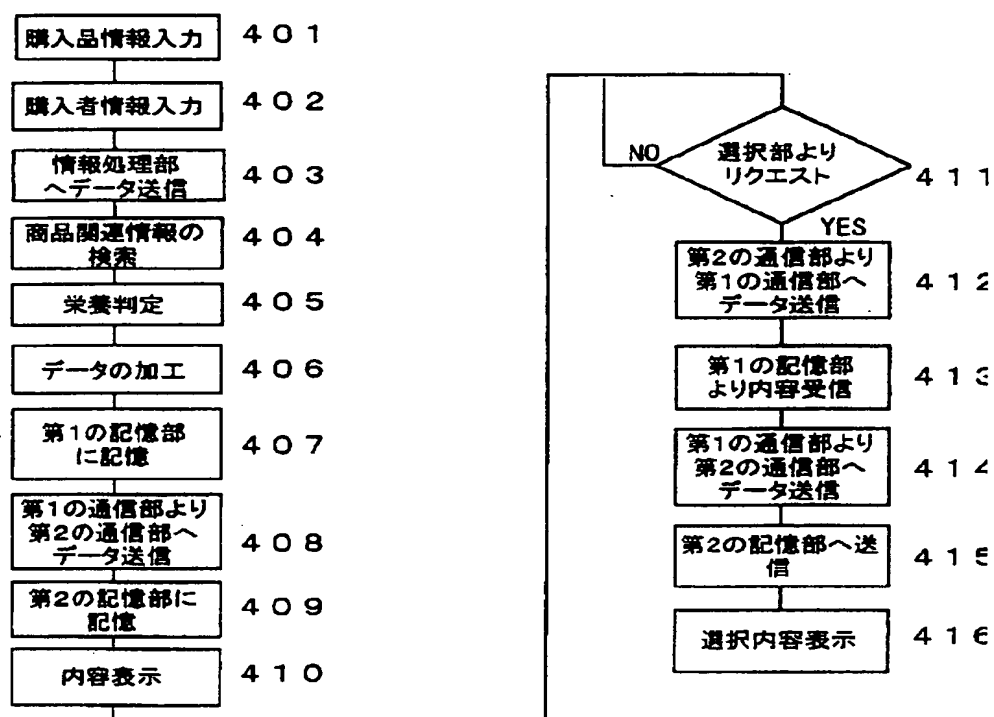


【図8】

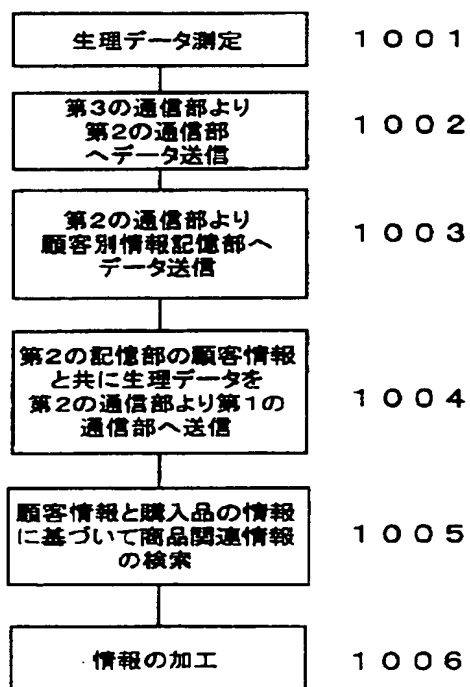
◆お買い物記録		
△スーパー食品店	97.3.21	
顧客ID: 212365	松下様	
購入品名	数量	価格
ミンチ(合いびき)	1	1500
チョコレート	1	150
ピーナッツ	1袋	200
にんじん	2本	200
れんこん	1個	250
キャベツ	1個	150
きゅうり	5本	280
かぼちゃ	1/2個	180
豆腐	1丁	100
納豆	1	150
えのき	1袋	110
アイスクリーム	2個	200
いちご	1	390
△△冷凍ギョーザ	1	280
〇〇トレイクリーナー	1	350
合計		4470

プロフィール入力	
氏名	[松下 康子]
住所	[奈良市大宮町3-1]
家族	[3人]
年齢	[50, 40, 15]
<食嗜好>	
□和	□洋 □中華 □和食
□低カロリー	□低塩 □低脂肪
レシビ	[]人分
◆健康状態	
□肥満	身長 [] cm 体重 [] kg
□高血圧	□腎臓病 □糖尿病 □肝臓病
□アレルギー	□卵 □大豆 □牛乳 □魚 □肉 □ダニ □薬品
◆住宅について	
□戸建て	□集合 □持ち家 □賃貸
□環境	□都市部 □郊外 □農山村
□所有調理器	
□電子レンジ	□オーブン □圧力鍋
□トイレ	□温水洗浄便座使用 □和 □洋
□空調	□エアコン □ガス □石油
送信	

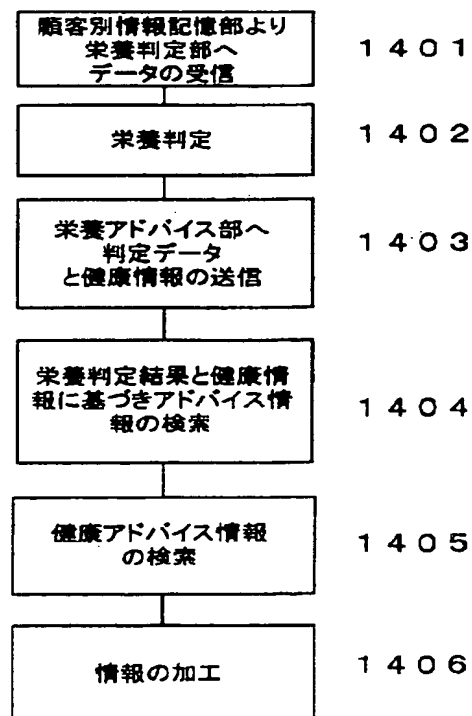
【図4】



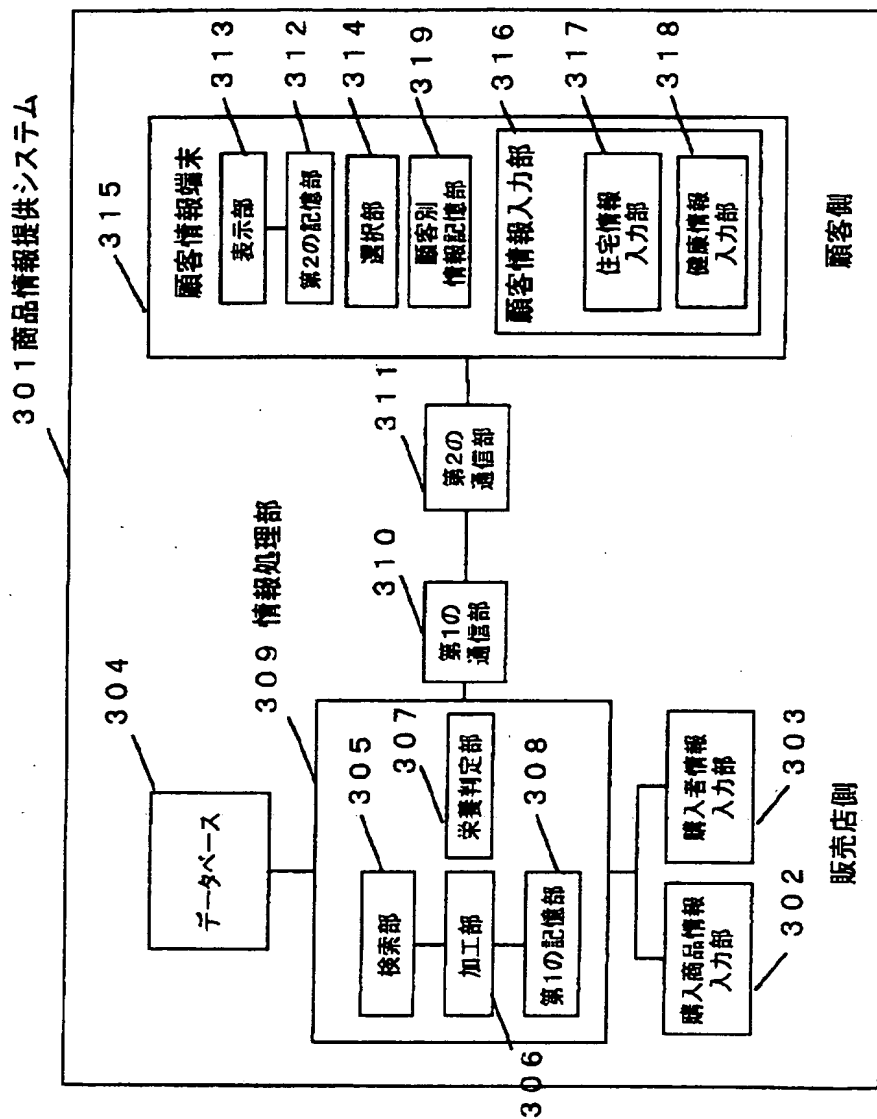
【図10】



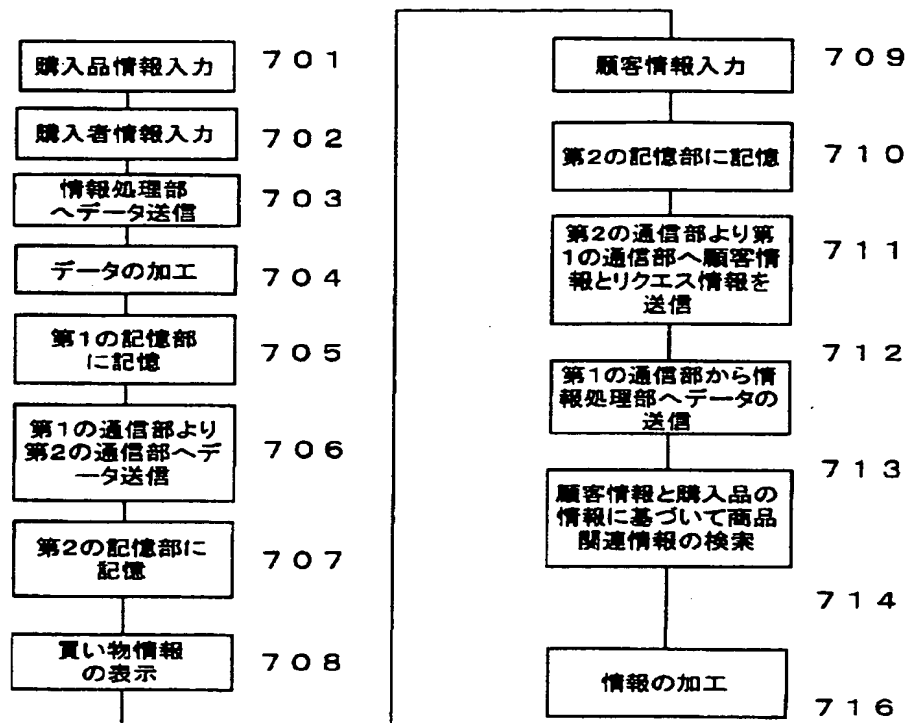
【図13】



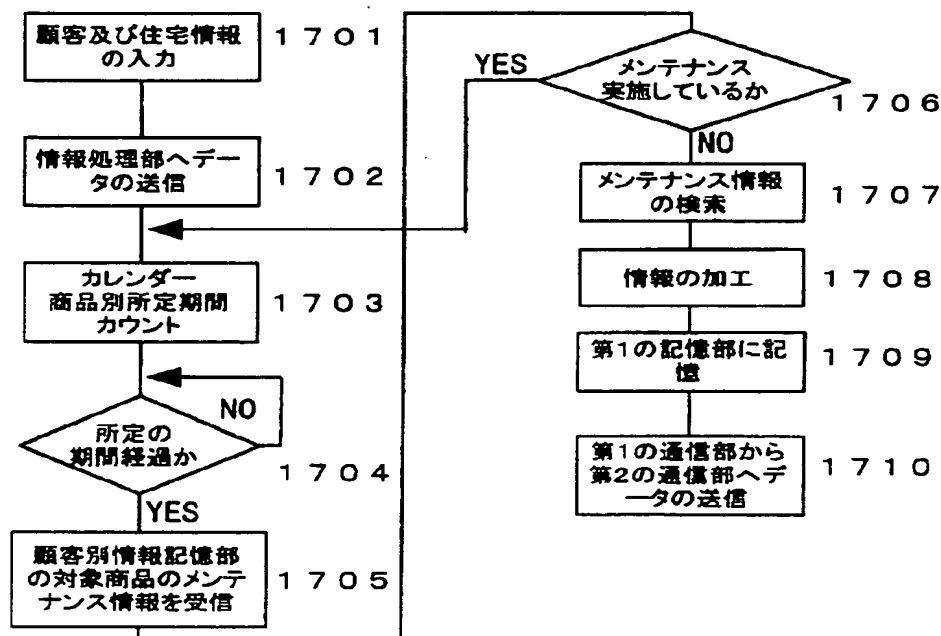
【図6】



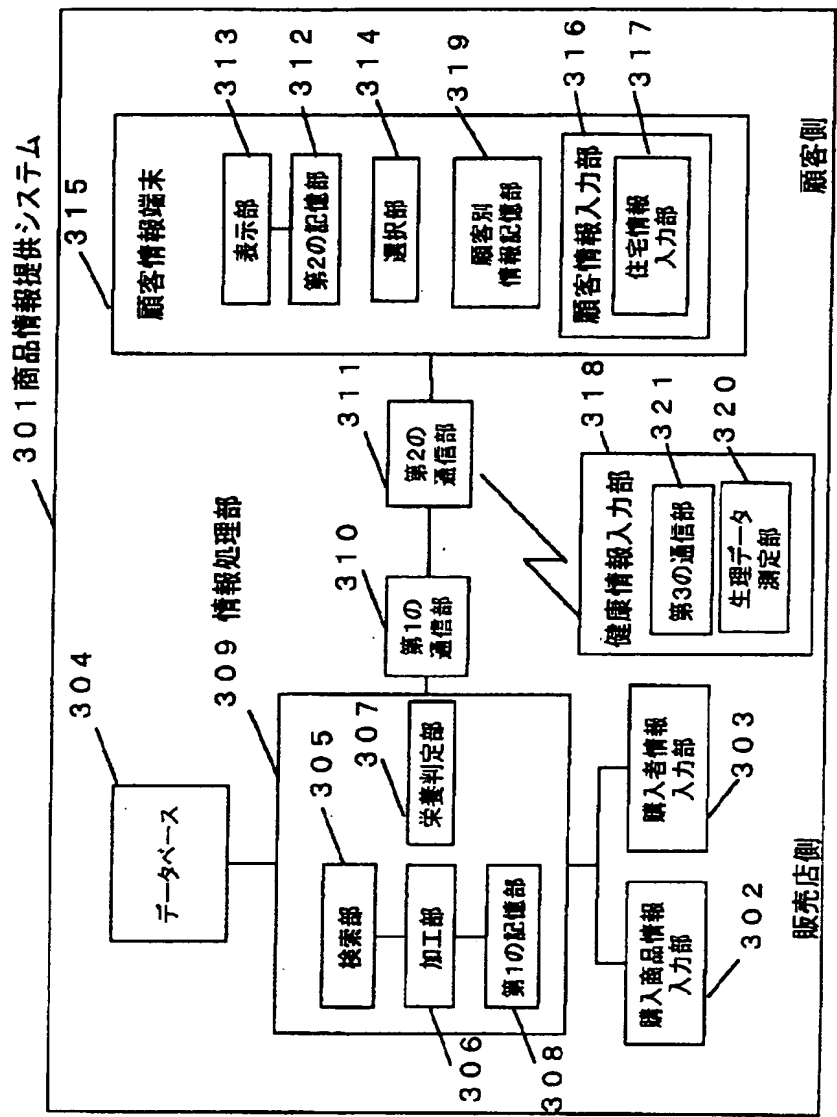
【図7】



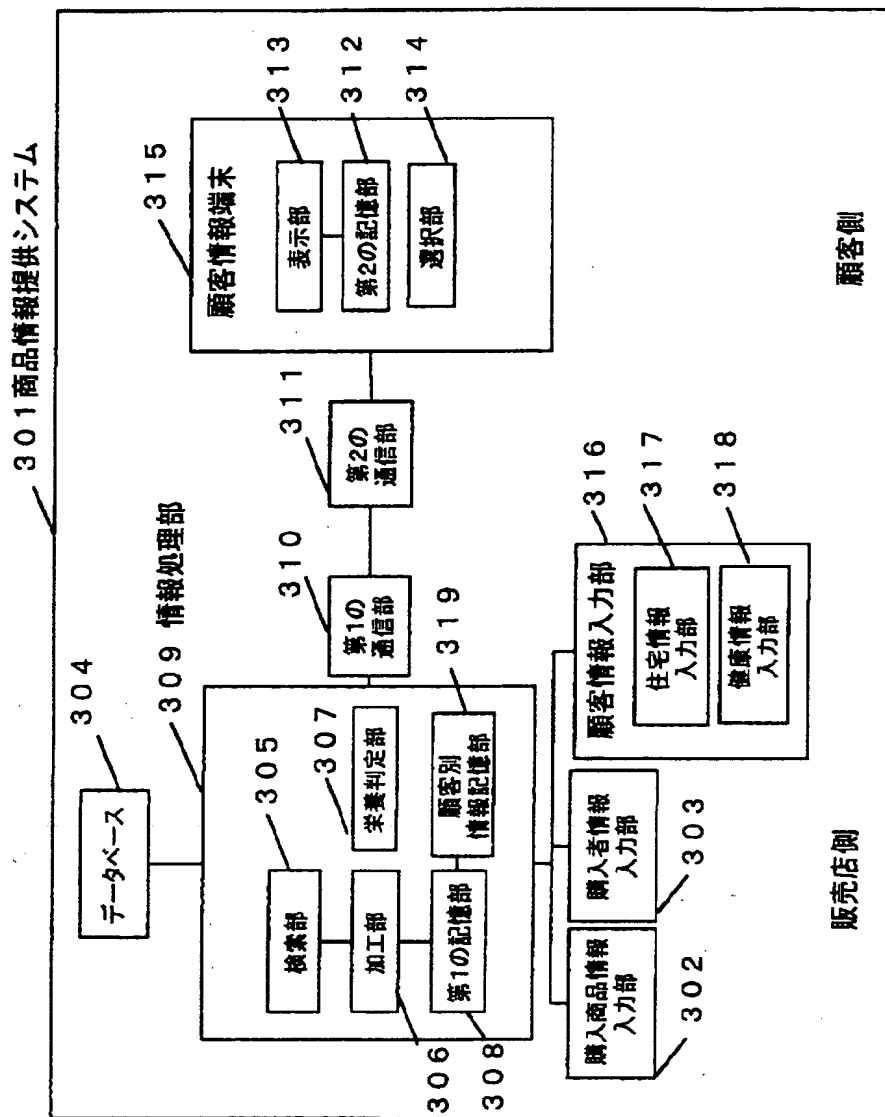
【図16】



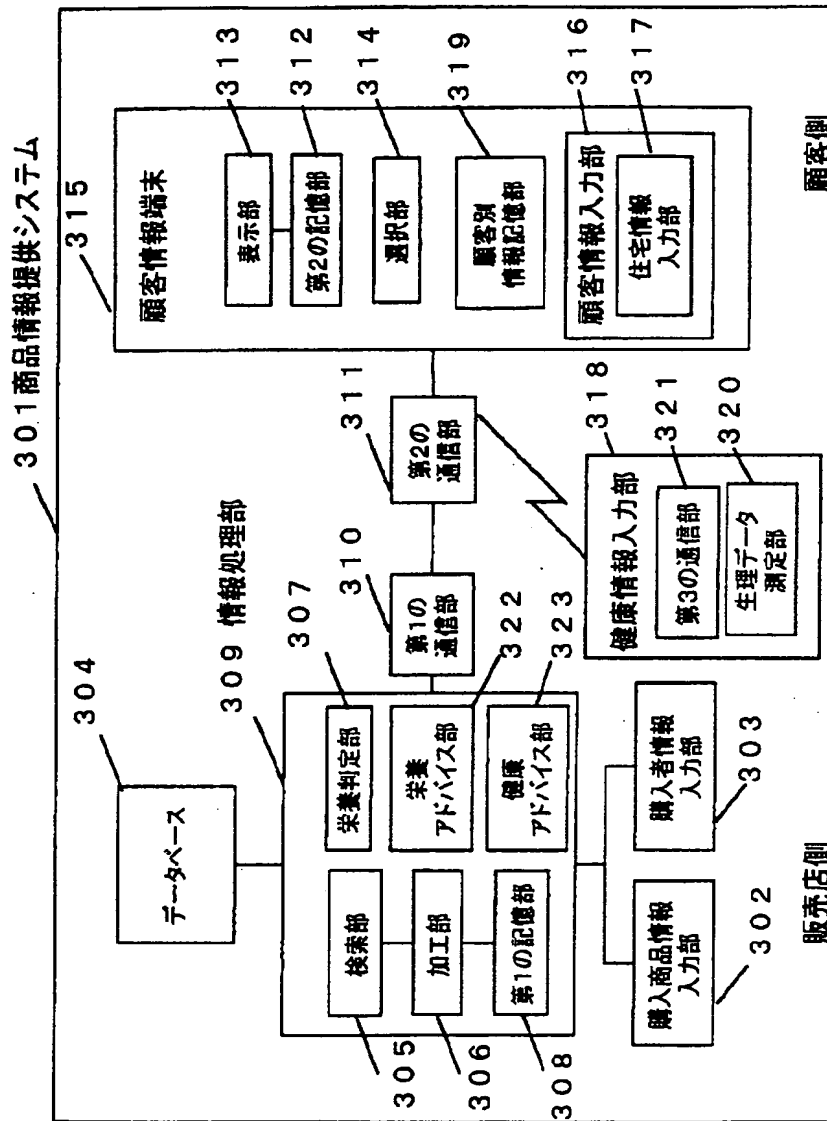
【図9】



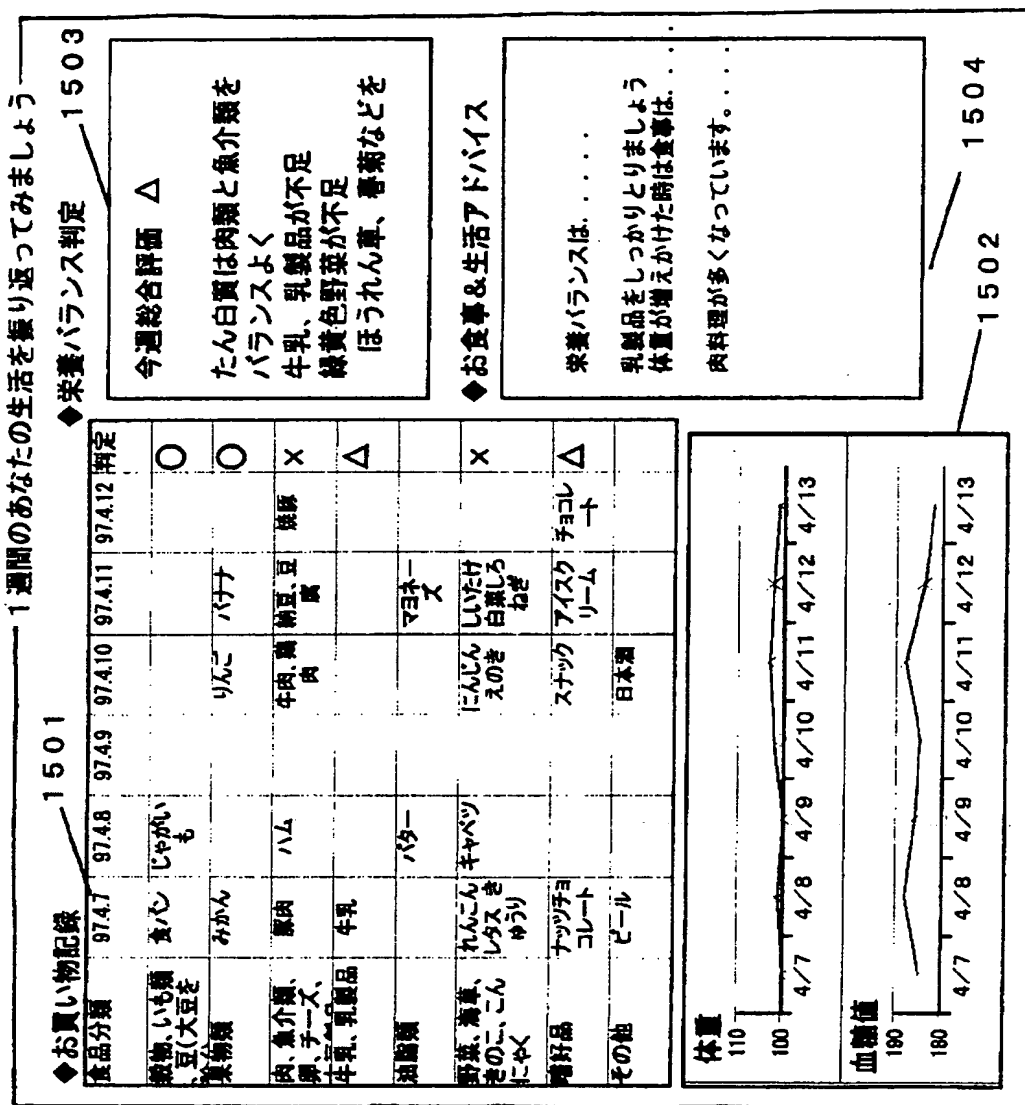
【図11】



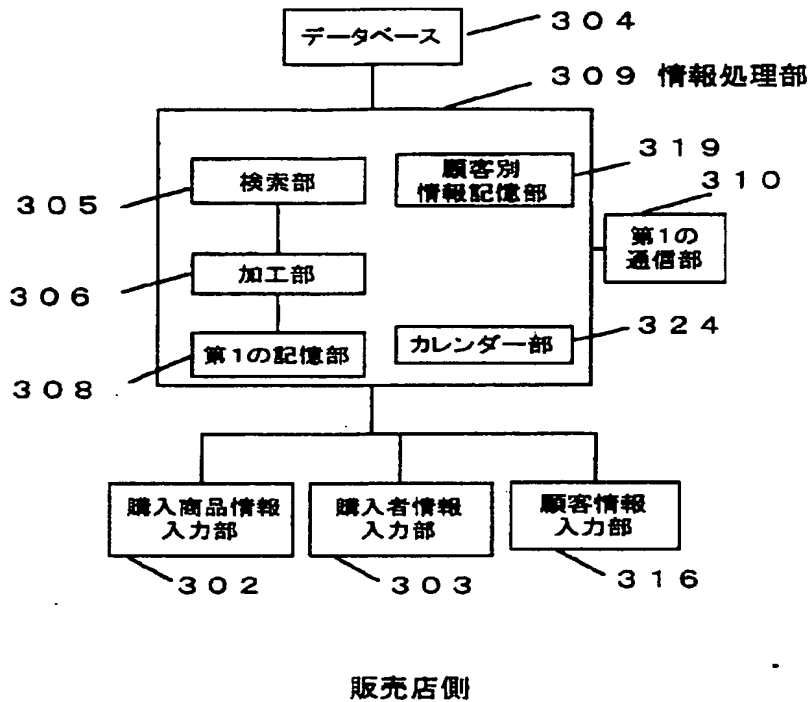
【図12】



【図14】

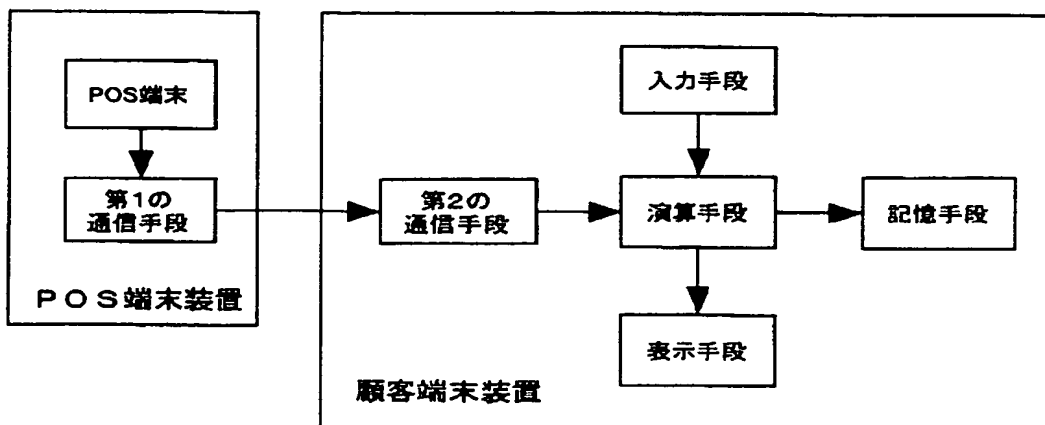


【図15】



【図17】

従来例の説明図





フロントページの続き

(72)発明者 小林 徹

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

05